

分野1「既存公共交通」の取組

実施内容		進捗状況
これまでの取組状況及び令和元年度の取組		
(1)公共交通利便性向上施策		
ア バスの利便性向上施策		
(ア)バス系統再編		
1	バス事業者間で競合する路線・系統における、路線の再編やダイヤ調整 【交通局】 ＜平成29年度＞ 平成30年3月のダイヤ改正において、京都バスとの社局連携により、京都駅前バスターミナルにおける嵐山方面行きバスのりばを統合。これにより、市バス、京都バスが交互に等間隔で運行(6回／時)し、利便性が向上。	事業推進中
	定時性の低い長大系統や鉄道とバスが並行する区間における、系統の再編 【京都バス】 ＜平成28年度＞ ・地下鉄並走系統や長大系統の分割、乗継化を行い、地下鉄とバスの分担適正化、定時性向上を図る。	事業推進中
3	観光シーズンにおける、臨時バスの運行(バスと鉄道の連携輸送の強化等) 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・観光シーズンにおいて、京都駅を起点とするシャトルバス・洛バス・急行バスの運行等、旅客動向を踏まえた臨時バスの運行を適宜実施(春の桜シーズン、5月大型連休期間、秋の紅葉シーズンを中心に、東山シャトル、ライトアップ号、洛楽東山ラインその他臨時バスを運行)	事業がほぼ達成
	【西日本JRバス】 ・紅葉のシーズンに京都駅を起点とする梅ノ尾方面の増便を実施	
	【京阪バス】 ・春の桜シーズンに京都醍醐寺線(京都駅八条口～醍醐寺間)の増便を実施	
(イ)バスダイヤ改善		
4	基幹路線となるバス路線(河原町通、東大路通など)のパターンダイヤ化(3分～5分間隔)及び他系統との接続向上 【交通局】 ＜平成29年度＞ 平成30年3月のダイヤ改正で、京都駅と東山エリアとを結ぶ急行100号系統を増便し7～8分間隔で運行するとともに、運行経路が重なる206号系統とのダイヤ調整も行い、京都駅前発では、2系統を合わせた等間隔運行(3～4分間隔)を実施	事業推進中
	運行本数が減少する夜間(21時以降)のバス路線のパターンダイヤ化(鉄道や地下鉄ダイヤと整合) 【交通局】 ＜平成30年度＞ 平成31年3月のダイヤ改正で、最終便の時刻繰下げを含む夜間時間帯の増便を実施	事業がほぼ達成
6	地下鉄のダイヤと合わせた、バス路線のバラストタイムテーブル化(利用が低迷しているバス系統の増収増客策) 【交通局】 ＜平成30年度＞ 平成31年3月のダイヤ改正で、205号系統を区間増便し、最終便の時刻を繰り下げることで、地下鉄北大路駅において今までより1本遅い地下鉄から乗り継げるダイヤ編成を実施	事業推進中
	【洛西地域におけるバス利便性向上】 洛西地域に近接する鉄道事業者とも連携しつつ、公共交通の利便性向上 洛西地域を運行する4事業者のバス系統(経路)・系統番号・ダイヤ・バス乗り場の一元的な見直し及び料金収受方法の改善等	事業がほぼ達成
7	【京都市】 ＜令和元年度＞ ・交通結節点(阪急桂駅、JR桂川駅、境谷大橋バス停(東行))における、共通案内板(共通時刻表、共通路線図、共通のりば案内)の更新	
	【交通局】 ＜令和元年度＞ ・らくさいさくら祭への参画(継続)	
	【ヤサカバス】 ＜平成29年度＞ 平成30年1月5日、桂川駅前に「JR桂川駅前バス総合案内施設」設置、洛西地域を運行する4社局の情報並びに洛西方面の観光情報などの案内を開始	
(ウ)市バスの均一運賃区間の拡大		
8	市バスの均一運賃区間の拡大 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・均一運賃区間でない地域について、関係事業者と協議を実施	事業推進中

実施内容		
	これまでの取組状況及び令和元年度の取組	進捗状況
イ バス走行環境の改善施策		
(ア)バス走行空間改善		
9	バス専用又は優先レーンのカラー舗装化	企画構想段階
10	<p>高頻度にバスが走行されている区間については、国等の支援も得て、高度道路交通システム(ITS)の展開や新交通管理システム(UTMS)を推進</p> <p>【交通局】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスの走行環境改善について、京都府警察と連携した取組を実施していく中で、PTPSの拡大についても要望。 	事業推進中
11	<p>違法駐停車に関して、市民、商工業者、物流業者などに対する啓発活動の充実</p> <p>【京都市】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都市違法駐車等防止条例」に基づき、都心部を中心に、違法駐車等防止指導員(行財政局サービス事業推進室職員)により違法駐車等の解消のための指導・啓発活動を行うとともに、京都府警察等の関係行政機関及び業界団体と連携し、「中心市街地重点路線等クリア作戦」を毎月1回実施 ・自転車走行環境の整備と併せて、自転車走行推奨帯(矢羽根マーク)上の違法駐車対策として、自動車の運転手に対する啓発を実施 ・タクシー業界団体、京都運輸支局、京都府警察、京都市からなる「京都市タクシー駐停車マナー向上マネジメント会議」において、タクシー駐停車マナー向上キャンペーンを行い、アンケートや街頭啓発など、モビリティマネジメントの手法を活用した取組を実施。令和元年度は新たな取組として、乗務員に対するアンケートだけでなく、運行管理者へのアンケートを実施するなど、事業者の意識向上を図るとともに、タクシー車内(ヘッドレスト)に掲出している、乗降マナーを呼びかける啓発用ポスターを日英併記にするなど、訪日外国人に向けた取組みも実施 ・平成30年12月から実施の「御池通における貨物集配中の車両に対する駐車規制緩和」を周知・啓発するため、京都府警及び京都府トラック協会と合同で、御池通周辺の細街路で荷捌き中の貨物車両に対して、御池通が駐車可能である旨の啓発チラシを配付し説明 	事業推進中
12	<p>観光シーズンの特定日等に、観光地交通対策の一環として、主要道路の違法駐停車の集中指導を実施(バスレーンに誘導員を配置し、侵入車両を排除)</p> <p>【交通局】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅前や東山通など特に渋滞の発生している路線では、バス停留所に職員を配置し、お客様の案内を兼ねて駐停車車両への啓発を実施 	事業推進中
13	<p>バス専用レーンへの侵入やバス発車妨害は道路交通法違反であることをマスメディア等を通じて啓発</p> <p>【交通局】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察及び市内所轄警察署並びに市内の主な自動車教習所において、来所者へ啓発チラシを配布 	事業推進中
14	<p>警察の協力の下、違法駐車等防止指導員や地域ボランティアによる駐停車違反者に対する指導の強化</p> <p>【京都市】 プロジェクトNo.11と同</p>	事業推進中
(イ)バス停環境改善		
15	<p>同一箇所複数あるバス停の集約化(洛西地域、四条河原町周辺 等)</p> <p>【交通局】</p> <p>＜平成29年度＞</p> <p>平成30年3月のダイヤ改正において、京都バスとの社局連携により、京都駅前バスターミナルにおける嵐山方面行きバスのりばを統合。これにより、市バス、京都バスが交互に等間隔で運行(6回/時)し、利便性が向上。</p>	事業推進中
16	<p>主要バス停におけるシェルターの整備 (シェルター内部に、路線図・時刻表および接続情報等をわかりやすく表示)</p> <p>【交通局】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺部等の広告付き上屋の整備が困難な地域において、上屋の整備実施 ・広告付き上屋の整備実施 <p>【京阪バス】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市補助金を活用し、上屋およびベンチ等を整備 【上屋】中道町(西行)、山科団地南(北行)、御陵東(西行) 【ベンチ】川田道(東行)、一本道(北行・南行) 【電照式標柱】醍醐バスターミナル、京阪六地藏 	事業推進中
17	<p>地域・事業者の協力によるバス待ち空間「バスの駅」や接近表示器等の整備</p> <p>【交通局】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や事業者の方々、公共施設の協力を得て、「バスの駅」の整備を実施 ・「バスの駅」のほか、電源の確保等の条件が整ったバス停へ接近表示器を設置 <p>【京福電気鉄道】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北野白梅町駅において、交通結節機能と観光案内機能との強化を目的とした駅改良を実施 	事業推進中
18	<p>バス停近くの商業施設や公共施設等の施設内におけるバスロケーションシステム案内板の設置箇所の拡大</p> <p>【交通局】</p> <p>＜令和元年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バスの駅」の整備にあわせ、接近表示器の設置 	事業推進中

実施内容		
	これまでの取組状況及び令和元年度の取組	進捗状況
19	観光地における路線バスターミナルの整備 【京都バス】 ＜平成22年度＞ ・嵐山地域に方面別のバス乗り場を集約するために拠点となるバスターミナルの整備。	事業推進中
	バス待ち環境等におけるバス停のデザインの向上 【交通局】 プロジェクトNo.16と同 【ヤサカバス】 ＜平成30年度＞ 京都市の補助を活用し桂御陵坂停留所の標識を非電照からソーラー式電照標識に更新し、夜間の利用者利便の向上を図った。 ＜令和元年度＞ 1か所を非電照からソーラー式電照標柱に更新 【京阪バス】 プロジェクトNo.16と同	
20	【阪急バス】 ＜平成29年度＞ ・京都市補助金を活用し、市内設置の停留所に以下を整備した。 ベンチの設置…1停留所1箇所 ソーラー式照明器具の設置…2停留所2箇所 蓄光板の設置…5停留所7箇所 ＜平成30年度＞ ・京都市補助金を活用し、市内設置の停留所に以下を整備した。 ソーラー式照明器具の設置…4停留所8箇所	事業推進中
ウ 鉄道の利便性向上施策		
(ア) 鉄道事業者間の連携		
21	鉄道結節点における乗継相手の情報提供の充実 【阪急電鉄】 ＜平成28年度＞ 春に阪急西院駅・京福西院駅の結節改善工事完了 ＜令和元年度＞ 令和元年12月、駅西側での構内及び構外EVの整備完了により西側改札口でのバリアフリー化が完了し、令和元年度末にて駅周辺整備事業が完成。 【JR西日本】 ＜平成29年度＞ 京都駅西口に地下鉄のりば大型案内表示を掲出 京都中央口に円町駅から金閣寺へ乗継案内表示を掲出(秋のみ) 二条駅の二条城への案内表示を整備 KYOTO CITY TRAVEL MAPをJR西HPに掲出 ＜令和元年度＞ ・京都市交通局と連携し、秋の紅葉期間に「地下鉄バス1日券」のモデルコースを掲載した宣伝物(日本語版、英語版)を制作し告知。 ・東山方面や醍醐方面に便利な山科駅を「京都の東の玄関口」として位置付け、「山科駅から地下鉄乗換」を誘導する宣伝物や案内表示を掲出。 ・嵐電と連携し、仁和寺方面は「太秦駅から嵐電乗換」を誘導する宣伝物や案内表示を掲出。 ・京都駅中央改札口及びはるかホームに「山科駅から地下鉄乗換」「東福寺駅から京阪乗換」「円町駅から市バス乗換」を案内する大型看板を設置。 【近畿日本鉄道】 ＜平成30年度＞ 京都駅改札外に現在地から各施設への出口案内を行うタッチパネル式のデジタルサイネージを設置 (案内内容) 〈交通系〉JR東日本(新幹線)、JR西日本(在来線)、京都地下鉄、市バス、空港バス、タクシーのりば 〈周辺施設〉観光案内所、京都タワー、伏見稲荷、清水寺、東福寺	事業推進中
	鉄道駅間における乗継施設の整備・改善 【阪急電鉄】 ＜平成28年度＞ ・阪急西院駅と京福西院駅とは従来約200m離れた西改札からの乗り継ぎを行っていたが、阪急西院駅に東出入口(北側・南側)及び改札口とEVを新設し、京福西院駅ではホームを移設・改修することにより、両駅間の乗り継ぎ円滑化を実現した。 ・阪急電鉄・烏丸駅にて地下鉄・JRへの誘導サインの掲出。 ＜令和元年度＞ 令和元年12月、駅西側での構内及び構外EVの整備により、上下線ホームへの移動がスムーズとなり、東西の各改札口におけるバリアフリー化も完成した。	
	【京福電鉄】 ＜平成28年度＞ 嵐電北野線帷子ノ辻～常盤間に「撮影所前」駅を新設し、JR嵯峨野線との乗り継ぎを改善。 阪急西院駅に北改札及び南改札口新設。合わせて嵐電西院駅嵐山行きホームを移設し、乗り継ぎ円滑化を実施。	
(イ) 地下鉄の利便性向上		
23	東西線沿線での潜在需要の発掘と、更なる利用促進 【交通局】 ＜平成25年度＞ ・東西線の8駅(御陵、山科、東野、柳辻、小野、醍醐、石田、六地蔵)を対象として、ポスティングを実施。	事業推進中

実施内容		
これまでの取組状況及び令和元年度の取組		進捗状況
24	烏丸御池駅での東西線と烏丸線の乗継待ち時間の短縮化 【交通局】 ＜平成29年度＞ ・平成30年3月のダイヤ改正において、烏丸線においては、朝夕の通勤通学時間帯に4往復の増便を実施するとともに、東西線においては、午前9時台以降に乗り入れる京阪列車を全て太秦天神川行きに変更	事業がほぼ達成
	夜間ダイヤの改善とパターンダイヤ化 【交通局】 ＜平成27年度＞ ・金曜日における地下鉄の終電延長を実施	
26	最終便は烏丸御池駅で4方向（東西南北）どの方向にも接続 【交通局】 ＜平成22年度＞ ・平成22年3月のダイヤ改正において、烏丸御池駅で烏丸線・東西線の全方向（4方向）の最終電車の乗り継ぎを可能とする「シンデレラクロス」を実施。	事業がほぼ達成
	駅の魅力向上と賑わい創出にもつながる地下鉄での駅ナカビジネスなどの積極的な展開の実施 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・コチカの店舗展開による利便性の向上に努めた。	
（ウ）鉄道ダイヤの改善		
28	鉄道の乗継利便性を考慮した鉄道ダイヤの設定 【交通局】 ＜平成29年度＞ ・平成30年3月のダイヤ改正において、烏丸線では、朝夕の通勤通学時間帯に4往復の増便を実施するとともに、国際会館駅発の始発を5分早め、市バスや他社線との乗り継ぎをより便利にした。東西線では、京阪大津線のダイヤ改正に合わせて、午前9時台以降に乗り入れる京阪列車を全て「太秦天神川駅」行きに変更し、「京都市役所前駅」止まりによるお客様の御不便の改善を図るとともに、地下鉄烏丸線、JR山陰線、嵐電嵐山本線との接続本数を増やし、市内の西部から東部地域、さらに、びわ湖浜大津地域を結ぶ鉄道アクセスを強化した。	事業推進中
	【阪急電鉄】 主要駅での優等列車と普通列車（準急列車）、本線と支線相互間など可能な限り乗り換え乗り継ぎを考慮したダイヤを設定。また行楽期には、梅田から乗換えなしで嵐山へ直通する列車を運行し、利便性の向上を図っている。	
	【京福電気鉄道】 ＜平成29年度＞ ・平成29年3月25日実施のダイヤ改正で阪急西院駅・京福西院駅での乗り継ぎを考慮 ・平日夜間22時台の増便、嵐山本線⇄北野線間の乗り継ぎ時間、北野線や間時間帯の増便も実施	
（エ）鉄道施設の整備		
29	利用者の利便性向上を図るための鉄道施設の整備（例：JR嵯峨野線 京都・丹波口駅間新駅、阪急京都線（洛西口駅付近）の連続立体交差化）など 【京都市】 ＜平成30年度＞ （阪急京都線連続立体交差化事業） ・平成30年3月に交差点を含む道路復旧工事の完成に伴い、全ての事業が完了。平成30年10月には阪急電鉄（株）との共催で実施した「TauT阪急洛西口」の完成式典において、連続立体交差事業の完成をPR。 （梅小路京都西駅） ・駅舎本体の建築工事を実施後、駅舎内の設備工事、軌道・電気工事を行い駅施設が完成し、平成31年3月開業。	事業推進中
	【阪急電鉄】 ＜令和元年度＞ 京都市南西部地域の交通渋滞の解消と都市交通の円滑化や地域の活性化を図る目的である阪急京都線（洛西口駅付近）連続立体交差化事業により、洛西口駅付近の鉄道高架化を実施（平成27年度全線高架化）。 ・高架下エリア「トート阪急洛西口」の第1期エリアを平成30年10月に開業、第2期エリア（向日市域）を令和2年1月に開業、令和2年度中の全体開業に向けて第3期エリアの整備に着手。	
	【JR西日本】 ＜平成30年度＞ ・JR嵯峨野線 「梅小路京都西駅」の開業（平成31年3月14日開業） ＜平成31年度＞ ・JR奈良線 桃山駅バリアフリー化供用開始（令和2年3月20日） ＜令和元年度以降＞ ・西大路駅バリアフリー化及び北口改札の設置 ・JR奈良線 六地藏駅改良（EV、上下ESC新設）	
	【近畿日本鉄道】 ＜平成29年度＞ 近鉄丹波橋駅のリニューアル工事を実施し、駅舎全体の美装化とスーパーマーケット「成城石井」を新規出店した。	
	【叡山電鉄】 ＜令和元年度＞ ・貴船口駅改良工事を実施。ホーム幅及び階段幅を拡張し安全性を向上	

実施内容		
	これまでの取組状況及び令和元年度の取組	進捗状況
エ 鉄道・バスの連携施策		
(ア)乗継利便性向上		
	ダイヤの整合や運賃システムの共通化等を図り、乗継抵抗を低減 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・交通局が発売しているバスのICOCA定期券で新たに西日本JRバスの均一運賃区間の共通利用化を実施（令和2年4月1日） ・ICカードによるポイント還元制度の導入などの各種割引乗車券の抜本的見直しについて、令和2年度の具体的な制度案策定に向け検討	事業推進中
30	【京阪バス】 ＜令和元年度＞ ・京都醍醐寺線の一般路線バス化（運賃値下げ）に伴い、「バス・地下鉄連絡乗車券」および「地下鉄・バス連絡乗車券」、「京都市敬老・福祉乗車証」の取り扱いを開始。	
	【JR西日本】 ＜平成29年度＞ 京都市交通局との連絡定期券契約の締結	
	交通結節点での鉄道・バス間の乗換案内の充実 【京都市】 ＜令和元年度＞ ・阪急桂駅、JR桂川駅、四条大宮、出町柳、三条、四条通地下通路（烏丸～河原町間）における、共通案内板の更新作業の継続 ・事業者の枠組みを越えた統一かつ連続的な外国語案内充実の検討	事業推進中
31	【交通局】 ＜令和元年度＞ ・市バス中央部に車内案内モニターを増設 ・地下鉄車両における案内表示の充実（車内案内表示器での乗換案内の4箇国語対応）を烏丸線3編成（全11編成完了）、東西線4編成（13／17編成完了）について実施	
	【JR西日本】 プロジェクトNo.21と同	
	駅及び駅周辺の乗継施設の整備・改善（例：JR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅、京都駅八条口駅前広場整備、阪急電鉄及び京福電気鉄道の西院駅の再整備など） 【京都市】 ＜令和元年度＞ ・西院駅（阪急）の西改札口における駅舎の建替等の工事を実施 ・京都駅八条口駅前広場のタクシー、バス等の各交通施設の運用	事業推進中
(イ)多様な料金施策		
	定期券保有者に対する、家族を含めた優遇制度の充実 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・「持参人式定期券制度」を継続実施 ・「環境定期券制度」を継続実施 ・「ecoサマー」を実施	事業がほぼ達成
	観光客の多様なニーズに対応した、交通事業者共通の企画切符の導入及び広報 【京都市及び交通局】【京阪電車】【JR西日本】【阪急電車】【京福電車】 ＜令和元年度＞ ・歩くまち・京都ルールきっぷ夏版・冬版の発売	事業推進中
	【交通局】 ＜令和元年度＞ ・各種企画乗車券のポスターを駅構内、車内などで掲出しPRを実施	
34	【阪急電鉄】 ＜令和元年度＞ 観光客に対する交通系ICカード利用を促すPR（11月と2月に沿線情報誌に掲載）を実施	
	【西日本JRバス】 ＜令和元年度＞ ・京都駅～周山間を割安でご乗車でき、利用者の特典のある「周山フリー乗車券」を発売（北野～周山間に限り乗り放題）	
	【JR西日本】 ＜平成29年度＞ 関西1DAYバス発売（毎年）	

実施内容		
	これまでの取組状況及び令和元年度の取組	進捗状況
	<p>共通運賃や乗継制度、ICカードの普及拡大、ICカードによる定期・乗継割引サービス導入 など</p> <p>【京都市】 ＜令和元年度＞ ・交通事業者が発行するパンフレット等の広報媒体に、交通系ICカード情報を表記</p> <p>【交通局】 ＜令和元年度＞ ・交通局が発売しているバスのICOCA定期券で新たに西日本JRバスの均一運賃区間の共通利用化を実施（令和2年4月1日） ・ICカードによるポイント還元制度の導入などの各種割引乗車券の抜本的見直しについて、令和2年度の具体的な制度案策定に向け検討</p> <p>【京阪バス】 ＜令和元年度＞ ・関西国際空港線（京都系統）へICカードシステムの導入</p>	事業推進中
35	<p>【阪急電鉄】 ＜平成30年度＞ 外国人観光客に対する交通系ICカード利用を促すPR（主要駅でのポスター掲出 チラシ設置）を実施 ICOCA導入に伴い阪急烏丸駅、地下鉄四条駅を接続とした阪急－京都地下鉄ICOCA連絡定期券の発売（平成31年3月1日から発売）</p> <p>＜令和元年度＞ 外国人観光客に対する交通系ICカード利用を促すPR（主要駅でのポスター掲出 チラシ設置）を実施</p> <p>【JR西日本】 ＜平成30年度＞ ICOCAカード利用時に乗車回数券や買い物に応じてポイントがたまる「ICOCAポイント」のサービスを開始（10/1～）</p> <p>【嵯峨野観光鉄道】 ICOCAカードの導入</p>	
	<p>【京都市内共通乗車券】 京都市内の鉄道・バス事業者が連携し、地区内の公共交通を共通に利用することができる企画切符の導入 当面のターゲットは観光客とし、付加価値（商業施設・観光施設・飲食施設等での割引特典など）をつけて販売</p>	
	<p>【京都市及び交通局】【京阪電車】【JR西日本】【阪急電車】【京福電車】 ＜令和元年度＞ ・歩くまち・京都レールきっぷ夏版・冬版の発売</p>	
36	<p>【交通局】 ＜令和元年度＞ ・各種企画乗車券のポスターを駅構内、車内などで掲出しPRを実施</p> <p>【阪急電鉄】 ＜令和元年度＞ 観光客に対する交通系ICカード利用を促すPR（11月と2月に沿線情報誌に掲出）を実施</p> <p>【近畿日本鉄道】【京都市及び交通局】 ＜平成30年度＞ ・「京めぐり」の発売</p>	事業がほぼ達成

実施内容			進捗状況		
これまでの取組状況及び令和元年度の取組					
オ	バリアフリー化の推進				
37	旅客施設及び周辺の道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進		事業推進中		
	【京都市】 ＜平成29年度＞ ・西院駅(阪急)の西改札口における駅舎の建替等の工事や西大路駅(JR西日本)におけるバリアフリー化のための詳細設計等を実施。 ＜平成30年度＞ ・西院駅、西大路駅の工事を実施するほか、新たに桃山駅のバリアフリー化や京都駅の可動式ホーム柵の整備のための詳細設計に着手。併せて、鳥羽街道駅について、地元、利用者団体等が参画する会議を経て、東福寺地区(鳥羽街道エリア)バリアフリー移動等円滑化基本構想を策定した。 ＜令和元年度＞ ・西大路駅、桃山駅(以下、JR西日本)のバリアフリー化整備及び京都駅(JR西日本)の可動式ホーム柵整備を推進した。また、西院駅(阪急)、北野白梅町駅(京福)については、バリアフリー化整備が完了				
	【交通局】 ＜令和元年度＞ ・令和元年度に竹田駅の旅客トイレの全面改修を完了するとともに、九条駅及びびくいな橋駅の旅客トイレの全面改修を実施。また、北山駅及び十条駅について旅客トイレの全面改修の実施設計を実施				
	【叡山電鉄】 ＜平成29年度＞ ・出町柳駅のトイレを全面リニューアル バリアフリー化・多目的トイレの設置、洋式化 ・出町柳駅に内方線を整備、ホーム頭端部に固定柵を設置 ＜平成30年度＞ ・鞍馬駅に内方線を整備、ホーム頭端部に固定柵を設置 ・宝ヶ池駅に内方線を整備 ＜令和元年度＞ ・貴船口駅改良工事に伴いバリアフリー化。エレベーターの新設、トイレリニューアルで多機能トイレを設置				
	【阪急電鉄】 ＜令和元年度＞ ・阪急西院駅ビルの建て替えに合わせたEV及び多機能トイレ新設によるバリアフリー化工事が完了				
	【西日本JRバス】 ・周山バス待合室にあるトイレを和式から洋式に変更<平成29年度実施済>				
	【京阪電鉄】 ＜平成29年度＞ ・伏見稲荷駅のトイレリニューアル・バリアフリー化 ＜平成30年度＞ ・丹波橋駅【南】のトイレリニューアル ＜令和2年度予定＞ 鳥羽街道駅のバリアフリー化に着手				
	【JR西日本】 ＜令和元年度＞ 西大路駅、桃山駅のバリアフリー化整備及び京都駅の可動式ホーム柵整備を実施 ＜令和2年度予定＞ 西大路駅のバリアフリー化整備及び京都駅(JR西日本)の可動式ホーム柵整備を実施するとともに、桃山駅のバリアフリー化整備が完了予定				
	【京福電気鉄道】 ＜平成30年度＞ 北野線等持院・龍安寺駅のバリアフリー化工事を実施 ＜令和元年度＞ 北野白梅町駅において、既存駅舎を解体し、スロープ、点字タイルの整備や多機能トイレを新設。 ＜令和2年度予定＞ 北野線御室仁和寺・宇多野・鳴滝駅等のバリアフリー化を実施することにより、北野線全駅のバリアフリー化対応を目指す。				
	【近畿日本鉄道】 ＜平成30年度＞ ・上鳥羽口駅ホーム内方線設置				
	38	事故防止の取組や地下鉄烏丸線全駅への可動式ホーム柵設置をめざした自動列車運転装置搭載の新型の車両導入着手など、市バス・地下鉄の安全性の更なる向上		事業推進中	
		【交通局】 ＜令和元年度＞ ・交通サポートマネージャーの資格を有する市バス運転士及び駅係員の養成を実施 ・地下鉄烏丸線の新型車両について実施設計に着手 ・可動式ホーム柵の全駅設置に向けた具体的な計画を策定(予定) ・安全運転訓練車を用いた研修(セーフティサポート研修)について、令和元年度12月に全市バス運転士の研修が終了しており、その後は、事故惹起者や経験の浅い運転士の教育指導に活用している。 ・市バスにおいて、運転士が、運転中の体調急変などにより安全運転の継続が困難となった場合、お客様が運転席後部客席側にある非常ブレーキボタンを押すことにより、車両を自動停止させる「ドライバー異常時対応システム」を搭載した車両を導入			

実施内容		
	これまでの取組状況及び令和元年度の取組	進捗状況
カ 効果的な情報提供策		
	(ア)体系的な情報提供の構築	
39	情報提供のガイドライン作成(路線図・時刻表等の紙媒体, WEB, バス停等の案内板など) 【京都市】 <令和元年度> ・一般財団法人自治体国際化協会が作成する「災害時多言語表示シート」への文例提供	事業がほぼ達成
	【交通局】 <令和元年度> ・京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”について, 令和元年度は, 外国人観光客が多い金閣寺道停留所付近に重点配置するなど, 活動日数を平成30年度の177日から197日程度まで拡大 ・英語, 中国語(簡体字, 繁体字), ハングルに対応したスマートフォン用ホームページ「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用 ・地下鉄とバスを組み合わせた案内に特化した観光マップ「地下鉄・バスナビ」の(日・英・中・ハングル)を発行	
	【JR西日本】 <平成30年度> ・特急はるか号の全車両の車内に鉄道を活用した京都観光をおすすめするWEBサイト「Kyoto Travel Web」(多言語対応)のQRコードを設置。 ・多言語音声放送システム導入駅の拡大 現行 京都駅のみを稲荷駅、嵯峨嵐山駅、二条駅、梅小路京都西駅、山科駅に順次拡大	
40	【阪急バス】 <令和元年度> 一般路線のバス停留所にQRコードのステッカーを貼付し、ホームページに掲載する運行情報や接近情報へのアクセスの簡素化を図る。	事業推進中
	観光案内所や市バス案内所等における公共交通に関する情報等の充実 【交通局】 <平成30年度> ・QRコードを活用した, 地下鉄全駅に設置している「地下鉄全線路線図」の4箇言語対応(日・英・中・ハングル)	
41	【阪急電鉄】 <令和元年度> 観光客に対する交通系ICカード利用を促すPR(11月と2月に沿線情報誌に掲載)を実施	事業推進中
	バス停等における主要目的地までの所要時間案内の充実 【京都市】 <平成30年度以降> 観光客の受入環境の整備と観光地の分散化を目的とした観光案内標識の設置・改良を進める。	
42	シンポジウムの開催や公共交通利用促進キャンペーンの実施 【京都市】 <令和元年度> ・洛西地域における公共交通利用促進イベントの実施(らくさいさくら祭) ・らくさいふれあい祭(4月), 左京区民ふれあいまつり(7月), 伏見ふれあいプラザ(9月), 右京区民ふれあいフェスティバル(11月)及び下京ふれ愛ひろば(11月)へ参画し, 公共交通の利用を呼びかける取組を実施した。 ・京北ふるさとまつりへ参画し, 公共交通の利用を呼びかける取組を実施した。	事業推進中
	【交通局】 <令和元年度> ・高島屋京都店, 京都マルイとの共同キャンペーン「第9弾ecoスタンプキャンペーン(H31.2.10～H32.1.31)」及び公共交通利用促進キャンペーン(計5回)の実施 ・らくさいさくら祭・地域の祭り(上京区／仁和学区, 西京区／福西学区, 西京区／松陽学区)等で公共交通利用促進PR活動の実施(継続) ・地下鉄利用促進ポスターの制作 ・大丸京都店との公共交通利用促進キャンペーン「お買い物は市バス・地下鉄で! 大丸京都店でお中元キャンペーン(6月)」, 「お買い物は市バス・地下鉄で! 大丸京都店でお歳暮キャンペーン(11月)」の実施の実施	
	【阪急電鉄】 洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキングを通じた「らくさいさくら祭」への協力	

実施内容		進捗状況
これまでの取組状況及び令和元年度の取組		
(イ) 市民向け情報提供		
43	地域別の公共交通マップの作成及びモビリティ・マネジメントの実施	事業推進中
	【京都市】 ＜令和元年度＞ ・地域主体のモビリティ・マネジメントの取組への支援 ○北区柊野学区における市バス特37号系統の利用促進の取組を実施 ○西京区福西学区における市バス特西4号系統の利用促進の取組を実施 ○伏見区醍醐地域における醍醐コミュニティバスの利用促進の取組を実施	
	【交通局】 ＜令和元年度＞ 地域主体のモビリティ・マネジメントと連携した取組(継続)	
	【京阪バス】 ＜平成30年度＞ ・平成29年に引き続き、「くろり山科」及び「鏡山循環」を実証運行として各1便増便 京都市の補助金事業として、山科区、地元自治会とともにMM活動を実施 (乗車啓発グッズの配布、乗車啓発看板の設置、アンケート実施、乗降調査の実施等) ・「小金塚地域循環バス」の実証運行を開始。 京都市の補助金事業として、山科区、地元自治会とともにMM活動を実施 ＜令和元年度＞ ・「くろり山科」及び「鏡山循環」増便、「小金塚地域循環バス」について、今後の本格運行可否を含め実証運行の継続及び、山科区、地元自治会とともにMM活動を実施	
	【阪急電鉄】 嵐山交通対策研究会へ参画し、モビリティ・マネジメントの取組への支援実施	
(ウ) 観光客向け情報提供		
44	観光地間周遊に便利な、鉄道・バスでの効率的なルートの案内情報の充実	事業推進中
	【京都市】 ＜令和元年度＞ 歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」を運用し、市内の公共交通機関のダイヤや路線図などの情報を発信	
	【交通局】 ＜令和元年度＞ ・地下鉄・バス一日券を利用した、地下鉄とバスを組み合わせた移動をPRするチラシ作成・配布 ・手ぶら観光の周知も合わせた地下鉄・バス一日券のPR	
	【西日本JRバス】 ＜平成29年度＞ ・京都バスチケットセンターに多言語対応をより円滑に行うために翻訳機「ポケットーク」を導入 ＜平成30年度＞ ・高雄京北線・京都有馬線の全車両に多言語対応を円滑に行うための翻訳機「ポケットーク」導入	
	【阪急電鉄】 ＜令和元年度＞ 観光客に対する交通系ICカード利用を促すPR(11月と2月に沿線情報誌に掲載)を実施	
	【京阪電鉄】 案内板(ウェルカムボード)に主要観光地へのアクセス方法を記載 ＜既設＞ 出町柳・三条・祇園四条・七条・東福寺・伏見稲荷 ＜平成29年度＞ 神宮丸太町・清水五条 ＜平成30年度＞ 丹波橋・中書島	
	【JR西日本】 ＜平成29年度＞ ・鉄道を最大限活用したHP及びアプリ「マイ・フェイバリット関西」の作成 ・KYOTO CITY TRAVEL MAP の作成	
45	歩いて楽しい観光コースにおける公共交通の案内情報の充実(ガイドブックの作成等)	事業推進中
	【交通局】 ＜令和元年度＞ ・地下鉄・バス一日券のホームページ多言語化(日・英・中)	
	【阪急電鉄】 春・秋の行楽期に祇園、東山および嵐山周辺エリアの回遊性を高めるため「エリアマップ」を発行(日本語版に加え英語版・繁体字版・簡体字版・ハングル版の5種)	
	【京阪電鉄】 ・平成30年4月28日より京阪電車沿線MAP「KEIHAN MY ROUTE KYOTO」を配布 日本語版:出町柳駅, 神宮丸太町駅, 三条駅, 祇園四条駅, 清水五条駅, 七条駅 英語版 : 出町柳駅, 祇園四条駅, 清水五条駅	

実施内容		進捗状況
これまでの取組状況及び令和元年度の取組		
46	観光地周辺の観光案内標識など、駅やバス停への誘導案内の充実 【京都市】 ＜令和元年度＞ ・東山・東福寺地区における案内ピクトグラムの掲出(京阪電鉄との共同実施) ・秋の東山交通対策における、東山五条交差点付近における多言語誘導案内板の設置 【京阪電鉄】 案内板(ウェルカムボード)にバスのりばのを記載 ＜既設＞ 出町柳・三条・祇園四条・七条・東福寺 ＜平成29年度＞ 神宮丸太町・清水五条	事業推進中
	【JR西日本】 ＜平成29年度＞ ・京都駅の観光客分散化に向けての誘導案内板の設置 ＜平成30年度＞ ・特急はるかに外国人向けの京都案内ガイドを各座席に設置 ・JR嵯峨野線円町駅をサブゲート駅と位置付け、鉄道を利用してスマートに観光できるようバスへの乗り換え案内を掲出 ＜令和元年度＞ ・東山方面や醍醐方面に便利な山科駅を「京都の東の玄関口」として位置付け、「山科駅から地下鉄乗換」を誘導する宣伝物や案内表示を掲出。 ・嵐電と連携し、仁和寺方面は「太秦駅から嵐電乗換」を誘導する宣伝物や案内表示を掲出。 ・京都駅中央改札口及びはるかホームに「山科駅から地下鉄乗換」「東福寺駅から京阪乗換」「円町駅から市バス乗換」を案内する大型看板を設置	
	観光案内ボランティアガイドとの連携による、観光客の公共交通利用促進 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・観光シーズンに合わせ、外国語での案内活動を京都駅において実施	
47	【阪急電鉄】 阪急京都線沿線観光あるきを継続実施 【京福電気鉄道】 観光シーズンに沿線の大学と連携し外国語での案内活動を四条大宮・嵐山駅・北野白梅町駅・御室仁和寺駅で実施(毎年)	事業推進中
(エ) インターネットでの情報提供		
48	既存の交通検索ソフトやウェブサイト に、市内のバスダイヤの情報を提供 【京都市】 プロジェクトNo.44と同 【交通局】 ＜令和元年度＞ ・英語、中国語(簡体字、繁体字)、ハングルに対応したスマートフォン用ホームページ「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用	事業がほぼ達成
	京都市全体の公共交通インターネットサイトを構築(各事業者の提供するホームページへリンク) 【京都市】 ＜令和元年度＞ ・京都市が参画するNPO法人「歩くまち・京都」フォーラムのホームページを活用し、各公共交通事業者のウェブサイトへのリンクやMM情報を掲載 ・交通事業者が発行するパンフレット等の広報媒体に、交通系ICカードの普及啓発用HPのリンクを掲出	
49	【JR西日本】 ＜令和元年度＞ ・訪日客向けに特急はるか号の全車両の車内に鉄道を活用した京都観光をおすすめするWEBサイト「Kyoto Travel Web」(多言語対応)のQRコードを設置し訴求。	事業がほぼ達成
キ 観光地交通対策		
50	京都市周辺地域でのパークアンドライドの通年実施 【京都市】 ＜令和元年度＞ ・周辺自治体及び駐車場事業者と連携し、パークアンドライド駐車場に関する広報を実施 ・一部の駐車場に関する重点的な案内誘導	事業がほぼ達成
	宅配機能付きのコインロッカーや宿泊施設と連携したキャリーサービスの充実 【京福電気鉄道】 ＜平成25年度＞ 嵐山駅ヤマト運輸当日配送。	
51	【JR西日本】 ＜平成29年度＞ ・京都市内ホテル・京都駅～関西空港駅間の手荷物配送サービスの実施(CROSTA京都) ＜令和元年度＞ ・ICコインロッカー検索システムを京都八条口エリアにも拡大(令和元年5月～)	事業推進中

実施内容		
	これまでの取組状況及び令和元年度の取組	進捗状況
52	鉄道駅を拠点としたレンタサイクルやカーシェアリングの普及	事業推進中
	【阪急電鉄】 京都市内では都市型レンタサイクルとして洛西口駅、西院駅、桂駅で実施、観光レンタサイクルとして嵐山で実施	
	【嵯峨野観光鉄道】 老朽化自転車の取替及び修理87台・自転車保険の加入・京都市レンタサイクル認定事業者・レンタサイクルマップの作成	
	【京阪電鉄】 ＜平成30年度＞ ・平成30年6月1日より京阪電鉄他2社でシェアサイクル(PiPPA)を開始【ポート設置:出町柳、神宮丸太町、三条、七条】 ・令和2年3月1日よりシェアサイクル(PiPPA)のポート増設【丹波橋、中書島】	
53	駅やバス停及びその周辺でサイクルアンドライドの推進	事業推進中
	【阪急電鉄】 洛西口駅高架化に伴った仮設駐輪場の移設により、既存契約者数に基づき必要な台数を確保した本設駐輪場の運営を開始	
	【京阪電鉄】 ＜平成29年度＞ ・駐輪場の増設及び新設(出町柳・三条)	
ク 公共交通不便地域のあり方		
54	中山間地域における現行のバス路線については、地域の実情(需要)も勘案しつつ、地域の活性化や福祉の視点も踏まえ、持続的な運行維持方策について、地域住民や交通事業者、行政機関等が参画した検討の場を設置	事業推進中
	【京都市】 ＜令和元年度＞ 中山間地域のバス路線沿線地域において、地域にとって必要な公共交通のあり方について、地域住民、区役所、交通事業者と共に検討を実施	
55	地域住民の皆様が生活交通の維持に対する意識を高めて頂くような仕組みづくり	事業推進中
	【京都市】 プロジェクトNo.54と同	
	【京阪バス】 プロジェクトNo.43と同	